

令和6年度

第2回定期監査
結果報告書

(令和6年12月執行分)

御殿場市監査委員

06御監第296号
令和7年1月30日

御殿場市長 勝又正美様
御殿場市議会議長 中島宏明様

御殿場市監査委員 榊原敏彦
御殿場市監査委員 勝間田博文

定期監査の結果について(報告)

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき、令和6年度第2回定期監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり報告します。

令和6年度第2回定期監査結果報告書

第1 監査の基準

この監査は、御殿場市監査基準(令和6年御殿場市監査委員告示第5号。)に基づいて実施した。

第2 監査の種類

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づく監査

第3 監査の対象

企画戦略部	秘書課
支所等	富士岡支所、原里支所、玉穂支所、印野支所、高根支所
議会事務局	議事課
	会計課
消防本部	警防課

第4 監査の着眼点

財務に関する事務の執行が、正確で、適正かつ効率的に行われているか。

- (1) 予算の執行に関する伝票等及び証拠書類等について
- (2) 現金、通帳、郵券等の金券などの管理について
- (3) 委託料随意契約の理由について
- (4) 備品等の管理について

第5 監査の主な実施内容

1 監査の期間

令和6年11月20日から12月24日まで

2 監査の範囲

令和6年4月1日から令和6年10月31日までの財務に関する事務事業の執行状況

第6 監査の実施場所及び日程

実施日	実施場所
令和6年12月20日	富士岡支所、原里支所、消防本部警防課、監査委員事務局
令和6年12月24日	玉穂支所、印野支所、高根支所、監査委員事務局

第7 監査の結果

監査の対象となった事務事業の予算執行及び会計事務処理は適正に執行されており、施設等の管理状況についても概ね適正であった。

法令、条例、規則等に違反している事項、又は経済性、有効性の観点から改善を要する事項など、特に指摘すべき事項は見受けられなかった。軽微な指導事項については、その都度関係職員に対して改善を求めた。

所管毎の監査の概要は次のとおりである。

企画戦略部

1 監査の対象

秘書課

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。
指摘事項、指導事項はなかった。

秘書課

当課は、課長以下 5 人で、秘書スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・秘書事務（市長・副市長の秘書に関する事務等）
- ・栄典・表彰事務（叙位・叙勲、静岡県知事表彰等申請事業、市表彰関係事業等）

(2) 予算の執行状況

歳出予算執行状況は、次のとおりである。

歳出予算執行状況（目別） （単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
一 般 管 理 費	12,821,000	5,160,364	7,660,636	40.2

※人件費を除く

(3) 前渡資金出納状況

前渡資金については、現金、通帳、関係帳簿等を照合した結果、計数は一致し適正に処理されていた。

前渡資金の出納状況は、次のとおりである。

（単位：円）

区 分	前 渡 資 金 額	精 算 額	返 納 額	未 精 算 額
市 長 交 際 費	570,000	384,576	0	185,424
有 料 道 路 通 行 料 (E T C)	100,000	85,910	0	14,090
公 用 車 燃 料 費 (水 素 自 動 車 分)	100,000	28,493	0	71,507
市 長 と 語 る ミ ニ 懇 談 会 報 償 金	3,000	3,000	0	0

(4) 郵券等の管理について

郵券については、保管していなかった。

(5) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約については、該当がなかった。

(6) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(7) 意見・要望事項

ア コロナ禍からの回復が進み、行事等が増加する中、市長、副市長及び随員職員の健康管理には十分留意され、引き続き、業務管理の適正化に努められたい。

イ 市民から市長への提言について、SNS 等で届く多くの要望に対しては、提言聴取の窓口として、今後も丁寧な対応に努め、開かれた市政、市民参加型の市政の推進に寄与されたい。

ウ 市長、副市長が出席する会議やイベント等の公務判断について、市民の疑惑や不信感を招くことのないよう、引き続き透明性の確保に努められたい。

エ 市長交際費について、今後も適正に支出するとともに、現金の取扱いにも注意されたい。

支 所 等

1 監査の対象

富士岡支所、原里支所、玉穂支所、印野支所、高根支所

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項はなかった。また、軽微な指導事項については、その都度関係職員に対して改善を求めた。

(1) 職員の状況

各支所は、支所長以下数名の職員が置かれ、地区振興スタッフにより組織されている。

各支所の職員の状況は、次のとおりである。

(単位:人)

区 分	職 員 数	会 計 年 度 任 用 職 員 数	計	備 考
富 士 岡 支 所	4 (0)	2	6	会計年度任用職員のうち1名は半日勤務
原 里 支 所	5 (0)	1	6	
玉 穂 支 所	6 (0)	2	8	会計年度任用職員のうち1名は半日勤務
印 野 支 所	4 (0)	1	5	
高 根 支 所	4 (0)	2	6	
合 計	23 (0)	8	31	

※職員数の()は、出産休暇や療養休暇等による長期休職者数(内数)

(2) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・戸籍・住民窓口事務
 - 市 民 課 業 務 : 戸籍、住民基本台帳、印鑑登録・印鑑証明、埋火葬及び改葬許可
 - 国保年金課業務 : 国民健康保険・国民年金の資格得喪
 - 税 務 課 業 務 : 市税の諸証明交付 等
- ・地域振興事業 (各地域の自治、文化、体育、教育、福祉等の振興に係る事務)
- ・地区区長会、各種団体との連絡調整
- ・支所及び会館の維持管理と運営
- ・地域防災に関すること (地震、その他災害対策等緊急時の連絡調整)
- ・財産区に係る事務 (富士岡支所を除く 4 支所)
- ・東富士演習場に係る事務 (東富士演習場の土地賃貸借契約事務、調査及び連絡調整)

(3) 予算の執行状況

各支所の歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況(款別)

富士岡支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対予算	対調定
使用料及び手数料	85,000	39,460	45,520	△6,060	53.6	115.4
諸 収 入	30,000	18,511	18,511	0	61.7	100.0

原里支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対予算	対調定
使用料及び手数料	70,000	37,880	43,100	0	61.6	113.8
繰 入 金	7,863,000	3,647,000	3,647,000	0	46.4	100.0
諸 収 入	180,000	63,575	63,575	0	35.3	100.0

玉穂支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対予算	対調定
使用料及び手数料	260,000	0	101,470	△101,470	39.0	-
繰 入 金	18,923,000	8,986,000	8,986,000	0	47.5	100.0
諸 収 入	259,000	122,758	122,758	0	47.4	100.0

印野支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対予算	対調定
使用料及び手数料	50,000	4,240	4,240	0	8.5	100.0
繰 入 金	7,507,000	3,539,000	3,539,000	0	47.1	100.0
諸 収 入	72,000	43,836	43,836	0	60.9	100.0

高根支所

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対予算	対調定
使用料及び手数料	83,000	0	17,720	△17,720	21.3	-
繰 入 金	9,725,000	4,564,000	4,564,000	0	46.9	100.0
諸 収 入	72,000	36,483	35,378	1,105	49.1	97.0

イ 歳出予算執行状況(目別)

富士岡支所 (単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
支 所 費	29,283,000	13,894,410	15,388,590	47.4

原里支所 (単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
支 所 費	9,306,000	3,728,014	5,577,986	40.1

玉穂支所 (単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
支 所 費	20,467,000	5,487,751	14,979,249	26.8

印野支所 (単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
支 所 費	7,642,000	2,518,057	5,123,943	33.0

高根支所 (単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
支 所 費	6,772,000	2,966,974	3,805,026	43.8

(4) 窓口事務の状況及び窓口現金の取り扱いについて
各支所の窓口事務の状況は、次のとおりである。

(単位:件・円)

	証 明 関 係							税 務 関 係		異 動 関 係		斎 場 使 用 料		合 計		
	戸 籍 関 係	住 民 関 係	諸 証 明	印 鑑 関 係	12 市 町 広 域	広 域 戸 籍 関 係	小 計		件 数	金 額	住 民 異 動 関 係	戸 籍 届 出 関 係	件 数	金 額	件 数	金 額
							件 数	金 額								
富士岡	634	1,300	14	1,011	27	174	3,160	1,147,800	817	233,500	263	69	69	414,000	4,378	1,795,300
原 里	509	848	17	783	20	99	2,276	836,600	625	125,540	93	17	25	172,000	3,036	1,134,140
玉 穂	512	893	13	475	7	72	1,972	735,050	427	126,700	124	98	144	1,016,000	2,765	1,877,750
印 野	108	232	4	181	6	17	548	195,600	74	20,180	12	12	14	100,000	660	315,780
高 根	297	461	8	337	12	20	1,135	424,550	314	55,240	15	52	53	280,000	1,569	759,790
計	2,060	3,734	56	2,787	72	382	9,091	3,339,600	2,257	561,160	507	248	305	1,982,000	12,408	5,882,760

※証明関係の件数は無料分・公用分を含む。税務関係は筆ごとに1件とする。

また各支所は、市民課から窓口事務に係る釣銭資金として各 50,000 円を配分されている。この管理状況について聴取を行い、計数を実査した結果、適正に処理されていた。

各支所の地区集会施設使用料の収入状況は、次のとおりである。

(単位:円)

区 分	富士岡支所	原里支所	玉穂支所	印野支所	高根支所
使 用 料	45,520	43,100	101,470	4,240	17,720

(5) 郵券等の管理について

郵券及び郵券受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、正確に記帳され、適正に管理されていた。(富士岡支所、原里支所)

(6) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に管理されていた。
(富士岡支所、玉穂支所)

(7) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。(印野支所以外)
ほぼ全ての物品へ、備品シールの貼り付けを行っていなかった。(印野支所)

(8) 指導(注意)事項

備品シールは、貼付になじまないものを除き、備品に応じて適切な場所に貼付けし、現物との突合ができる管理を検討されたい。(印野支所)

(9) 意見・要望事項

- ア 各支所窓口で取扱う手数料及び使用料等の公金について、適切に処理されていた。引き続き適正に管理されたい。
- イ 支所の窓口業務は年々、多様化・複雑化しており、業務負担の増大が各支所共通の課題として挙げられている。各支所担当職員や本庁各課と LoGo チャットのグループトークで情報を共有し、業務知識と理解の向上に努めているとのことだったが、引き続き、円滑な窓口対応の維持を図るとともに、業務負担軽減に繋がる工夫にも努められたい。
- ウ 大規模災害への備えとして、支部対応の長期化等を想定し、支部機能の強化を課題として挙げた支所があった。近年、全国的に自然災害が頻発していることから、早期の対応を要する事項の洗い出しや具体的対策の検討について、防災担当部署とも連携し、各支所共通の課題として取り組まれたい。
- エ 各種団体の代表者を慣例で支所長と定めていたり、支所職員が団体事務の多くを担っていたりするケースが見られるが、その必要性や組織のあり方について、十分に検討されたい。特に、市からの補助金が交付されているものについては、事業の実施方法や体制等を改めて見直し、必要な改善を図られたい。

議会事務局

1 監査の対象

議事課

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。
指摘事項、指導事項はなかった。

議事課

当課は、課長以下 8 人(うち会計年度任用職員 1人)で、議事・調査スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・本会議事務
- ・議会だより編集事務
- ・全員協議会関係事務
- ・議事録作成事務
- ・常任委員会及び常任委員会協議会事務
- ・議会運営委員会事務

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
諸 収 入	714,000	714,000	714,000	0	100.0	100.0

イ 歳出予算執行状況(目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支出率
議 会 費	26,551,000	14,328,308	12,222,692	54.0

※人件費を除く

(3)前渡資金出納状況

前渡資金については、通帳、関係帳簿等を照合した結果、計数は一致し適正に処理されていた。
前渡資金の出納状況は、次のとおりである。

(単位:円)

区 分	前渡資金額	精算額	返納額	未精算額
議長交際費	300,000	176,568	0	123,432
有料道路通行料(ETC)	150,000	58,300	0	91,700

(4)郵券等の管理について

郵券については、保管していなかった。

(5)委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(6)備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(7)意見・要望事項

ア 議会だよりについては、市民の意見聴取を目的として議会カフェを開催する等、内容の向上に取り組んでいる。今後も市民にとって身近な、わかりやすい市議会となるよう積極的な情報発信に取り組まれない。

イ 議員による行政視察については、知見を高めるためにも必要なことと理解するが、市民の関心も高いところであり、視察先選定や期間設定、内容報告(情報発信)等のあり方に注意して、更に有意義な事業となるよう努められたい。

会計課

1 監査の対象

会計課

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。
指摘事項、指導事項はなかった。

会計課

当課は、課長以下 8 人(うち会計年度任用職員 1 人)で、会計スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・現金の保管・収納・支払事務
- ・支出負担行為書・支出命令書審査事務
- ・決算の調整に関する事務
- ・指定金融機関等に関する事務

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況 (款別)

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	収入未済額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
分担金及び負担金	4,669,000	0	0	0	-	-
繰 入 金	180,000	0	0	0	-	-
諸 収 入	99,000	619,279	619,279	△520,279	625.5	100.0

イ 歳出予算執行状況 (目別)

(単位:円・%)

区 分	予算現額	支出済額	予算残額	支出率
会 計 管 理 費	35,981,000	5,448,682	30,532,318	15.1

(3)前渡資金出納状況

前渡資金について通帳、関係帳簿等を照合した結果、計数は一致し適正に処理されていた。
前渡資金の出納状況は、次のとおりである。

(単位:円)

区 分	前 渡 資 金 額	精 算 額	返 納 額	未 精 算 額
水道料金口座振替	32,373,290	18,316,300	0	14,056,990
電気料金口座振替	156,504,148	103,308,494	0	53,195,654
電話料金口座振替	29,229,142	18,210,490	0	11,018,652

(4) 郵券等の管理について

郵券については、保管していなかった。

(5) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(6) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(7) 意見・要望事項

- ア 近年、インボイス制度やキャッシュレス決済、公印省略、各種書類の電子化等、会計処理の多様化・複雑化が進んでいる。今後は eLTAX の活用等により市税収納の在り方が変わってくる可能性もある。社会情勢の変化や他市町の動向を注視しつつ、関連部署と連携し、適切な会計事務処理に努められたい。
- イ 令和6年度から金融機関へ新たな各種手数料の支払いが開始され、入金納付書や支出振込件数を可能な限り1件に集約する等の方法により、手数料を安価に抑える取り組みを行っている。今後も、手数料の値上げや小切手の有料化等が想定されることから、引き続き効率的な収納・支払方法について研究し、コストカットを行うことで、財政負担の軽減に努められたい。
- ウ 将来的には歳出の電子決裁を検討している。電子申請の円滑な導入に向け、導入済みの他市からの情報収集や課題の洗い出しを行い、対策について検討を進められたい。
- エ 基金運用については、これまで定期預金運用を行ってきたが、直近の金利上昇を受け、債券運用を検討しているとのこと。地方自治法において「基金は（中略）確実かつ効率的に運用しなければならない」と規定されており、「御殿場市債券運用指針」に基づき、安全性を最優先し、流動性を確保しながら、効率的な資金運用に努められたい。

消防本部

1 監査の対象

警防課

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。
指摘事項、指導事項はなかった。

警防課

当課は、課長以下 6 人(うち会計年度任用職員 1 人)で、消防防災スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・御殿場市消防団に関すること
(消防団活動事業、消防団施設維持管理業務、消防団車両整備事業、消防団活性化対策事業等)
- ・耐震性貯水槽設置及び消火栓整備事業
(40 m³耐震性貯水槽設置事業、水道管の布設及び布設替に伴う消火栓の新設・移設事業)

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
県支出金	137,000	128,840	128,840	0	94.0	100.0
繰入金	20,209,000	15,093,000	15,093,000	0	74.7	100.0
諸収入	12,013,000	642,000	642,000	0	5.3	100.0

イ 歳出予算執行状況(目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
非 常 備 消 防 費	72,316,000	30,362,906	41,953,094	42.0
消 防 施 設 費	34,777,000	3,443,102	31,333,898	9.9

※人件費を除く

(3) 郵券等の管理について

郵券及び郵券受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、正確に記帳され、適正に管理されていた。

(4) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約については、該当がなかった。

(5) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(6) 意見・要望事項

- ア 消防団員の確保について、富士山 G コインの進呈やSNS等のメディアを利用した広報等の新たな対策を講じて、団員確保に努めている。社会情勢や住民意識の変化を踏まえつつ、今後も団員確保の取組みを継続されたい。
- イ 駿東支部消防操法大会の中止等による訓練機会の減少については、これに代わる様々な研修機会の確保等を図っているとのことだったが、引き続き、実践的な消防力の向上に繋がる工夫に努められたい。
- ウ 40 m²型耐震性貯水槽の設置場所確保が以前からの課題となっているが、公共施設用地や事業所敷地の活用等の取組みを継続し、消火活動に支障を来すことのないよう計画的な対応を図られたい。
- エ 女性消防団員については、特に平時の活動を中心とした役割を担っていただくことで、生き生きと活躍できるような環境整備に引き続き配慮されたい。